

地域協調の取り組み

「東北の繁栄なくして当社の発展なし」。1951年の創立当初から現在に至るまで、変わることのない地域に対する当社の考え方です。当社は地域社会の一員として、地域の皆さまとさまざまな取り組みを行っています。2017年度は約1,500件の取り組みを行い、延べ約2万1,000人の社員が参加しました。

地域協調の考え方を社員一人ひとりが 持ち続けていきます

地域協調とは、当社そして社員一人ひとりが、地域社会の一員としての責任と役割を果たし、地域の皆さまとの相互理解を深め、地域社会との信頼関係をより強固なものにしていこうとする創業以来の考え方です。これは、当社の経営理念の一つである「地域社会との共栄」に込められた基本精神です。会社業務あるいは日常生活において、社員一人ひとりが地域協調の精神を深く心に刻み、次代に引き継いでいきます。

地域協調の取り組み方針(抜粋)

1. 私たちは、私たちが働き、生活する地域がより良くなるよう、地域社会の一員としての役割と責任を果たしていきます。
2. 私たちは、日常業務をはじめとする様々な機会を捉え、地域の皆さまと密接なコミュニケーションを図っていきます。
3. 私たちは、地域協調の考え方を深く心に刻むとともに、当社社員のDNAとして将来にわたって引き継いでいきます。

地域協調の取り組みを推進するため、 「地域協調推進会議」を設置しています

当社は、地域協調の取り組みを推進するため、「地域協調推進会議」を設置しています。

また、各県の「地域協調推進委員会」が、地域への思いを大切にしながら、それぞれの自主性・地域性を発揮した取り組みを積極的に展開しています。

今後も引き続き、地域の祭りへの参加や、各種清掃・植栽活動、福祉活動など、地域に寄り添ったさまざまな活動を通じ、皆さまに喜んでいただけるよう取り組んでいきます。

■ 地域協調推進会議体制



地域協調の取り組み事例

観光PR壁画の作成

山形県

[山形支店]

山形支店では、地中送電線建設工事に伴い設置した支店構内の仮囲いを活用し、近隣の園児たちと一緒に山形県の観光をPRする壁画を作成しました。壁画には山形県の春夏秋冬が描かれています。



いわき市植樹祭への参加

福島県

[いわき営業所・いわき技術センター]

緑豊かな郷土を将来世代に引き継ぐことを目的とした「第45回いわき市植樹祭」に参加しました。当日は、参加者全員で、クロマツの苗木600本を植樹しました。



交通信号機の清掃

青森県

[青森営業所]

青森営業所では、外ヶ浜警察署および地元の電気工事店の方々と協力し、交通信号機18か所の清掃を実施しました。信号が見やすくなるとともに、不良個所の発見にも繋がり、地元警察署より感謝の言葉をいただきました。



竹駒神社秋季大祭への参加

宮城県

[岩沼営業所・当社企業グループ]

東北電力企業グループによる「いわぬまみこし会」として、日本三大稲荷のひとつともいわれる竹駒神社の秋季大祭小神輿巡行に参加しました。グループ一丸となって地域社会の一員として祭りを盛り上げました。



※事業所名は2017年度時点のもの

社会貢献の取り組み

当社は、次世代支援プロジェクト「放課後ひろば」の展開や女性向けコミュニティ誌「Yui（結い）」の発行など、さまざまな社会貢献活動を積極的に行っています。今後も、各種イベントや発行媒体を活用しながら、お客さまや地域の方々をはじめとしたさまざまなステークホルダーとのコミュニケーションを大切にしていきます。

次世代支援プロジェクト「放課後ひろば」 ～地域の未来を担う子どもたちの成長を応援～



放課後ひろば 主な活動

次世代支援プロジェクト 放課後ひろば
http://www.tohoku-epco.co.jp/kids/after_school/

芸術・文化のひろば

スクールコンサート

プロの演奏家など音楽家が小・中学校を訪問して演奏する「スクールコンサート」を開催しています。子どもたちの年代に合わせた曲目や、校歌演奏、指揮者体験など、独自のプログラムを提供しています。



中学生作文コンクール

作文を通じて自分の将来や地域の未来を考えることにより、未来を見つめる新鮮な目と感動する心をいつまでも持ち続け、心豊かに成長してほしいという願いを込め、1975年から継続して実施しています。



中学生作文コンクール
<http://www.tohoku-epco.co.jp/saku/>

社会のひろば

職場訪問

将来の夢に向かって進む子どもたちのキャリア教育を応援する取り組みの一つとして、電力センターなどにおいて当社の仕事を体験していただく機会を提供しています。



科学のひろば

エネルギー出前講座

当社社員が講師として学校などを訪問し、エネルギーや地球環境の現状、電気の上手な使い方について、さらには発電の仕組みなどは実験を交えながら、理解を深めていただくエネルギー出前講座を行っています。



スポーツのひろば

東北電力旗 東北ミニバスケットボール大会

1988年度より東北6県および新潟県の小学生を対象とした唯一の選手権大会として開催しています。毎年8月に開催される東北大会では各県の厳しい予選大会を勝ち抜いた男女各16チームが東北電力旗をかけて熱い闘いを繰り広げます。当社は1990年よりメインスポンサーとして協賛しています。



東北電力旗東北ミニバスケットボール大会
<http://www.tohoku-epco.co.jp/syakai/02.html#minibas>

女性層向けコミュニティ誌「Yui（結い）」 ～人を結び、時を結び、暮らしを結ぶ～

「Yui（結い）」は、2005年に創刊した、幅広い年代の女性の方々を対象としたコミュニティ誌です。現在2万人を超える読者の皆さまに、東北6県と新潟県の魅力ある話題をはじめ、地域で活躍している女性の紹介や子育てに役立つ情報についてわかりやすくお伝えしています。



女性層向けコミュニティ誌「Yui（結い）」
<http://www.webdeyui.com/>

地域活性化に向けた支援

東北6県および新潟県の地域活性化に向けたさまざまな活動に、積極的に取り組んでいます。

地域づくり支援制度

「まちづくり元気塾®」を実施しています

「まちづくり元気塾®」は、地域活力の再生や自立に向けて課題解決に取り組む団体に対し、まちづくりの専門家を派遣し、地域の主体的なまちづくり活動を側面からサポートする制度です。2006年の制度開始から2017年までに、東北6県および新潟県の32団体を支援してきました。

まちづくり元気塾においてサポートした地域では、農家レストランの開業や農泊事業の実施など、具体的な活動に結びついた事例のほか、地域住民の意識変化や人材育成に役立ったという声も聞かれています。また、支援団体同士の交流により新たなネットワーク形成につながるなど、さらなる広がりも生まれています。

2018年は、岩手県下閉伊郡大槌町、宮城県東松島市、福島県河沼郡湯川村、新潟県胎内市の4地域でまちづくりに取り組む団体を支援しています。



宮城県登米市でのまちづくり元気塾の様子

□ まちづくり元気塾

<http://www.tohoku-epco.co.jp/genki/>

地域の課題解決を助成金によりサポートする 「東北・新潟の活性化応援プログラム」 を実施しています

当社は、2017年に「東北・新潟の活性化応援プログラム」を開始しました。これは、東北6県と新潟県の各地で、「地域産業の振興」や「地域コミュニティの再生・活性化」、「交流人口の拡大」などの課題解決に向けて自主的な活動を行っている団体を助成金によりサポートする制度です。

2017年は100団体を超える応募の中から、特別助成団体（助成金100万円）1団体、助成団体（助成金30万円）6団体を選定し、支援しました。

特別助成団体の「釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会（秋田県大館市）」は、釈迦内地区と歴史的に関わりが深い「ひまわり」を活用した活動を行っています。釈迦内小学校を核に、地域住民と子どもたちが一体となって、休耕地を活用したひまわりの植栽、ひまわり油の生産・販売などを行い、得られた収益を子どもたちの体験学習などに還元する、実践的キャリア教育に取り組んでいます。

2018年も支援団体の募集・選定を行い、地域の課題解決に向けた自主的な取り組みをサポートしていきます。



釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会の活動風景

□ 東北・新潟の活性化応援プログラム

<http://www.tohoku-epco.co.jp/sprogram/>

震災の教訓を共有し、復興・防災に貢献するため 「世界防災フォーラム」に協力しました

当社は、2017年11月、2年に1度仙台市で開催される「世界防災フォーラム」に協力し、期間中に開催されるセッションなどに参加しました。

セッションでは、震災当時女川原子力発電所に勤務していた社員が講演を行い、各国からの聴講者約100人に対して当時の状況や安全性向上に向けた取り組みなどを伝えました。このような取り組みを通じて、震災からの復興にも引き続き協力していきます。



講演の様子

国際協力・交流活動の推進

ASEAN 諸国からの技術研修生の受け入れなどを通じて、国際協力・交流活動を推進しています。

ASEAN諸国からの技術研修生受け入れや、現地でのセミナー参加など、電力基盤整備や電気事業に関わる人材の育成に協力しています

当社は、海外の電力関係機関との交流事業などを実施する団体への協力を通して、国際協力・交流活動を推進しています。

具体的には、一般社団法人海外電力調査会（JEPIC）の国際協力委員会の一員として、JEPIC が、アセアン諸国の電力基盤整備や電気事業に関わる人材の育成を目的に実施するアセアン協力事業に参加し、研修生を受け入れるとともに、現地で開催されるセミナーに当社社員を専門家として派遣しています。

2017年度は、インドネシア・ベトナムから各5名ずつ、10名の技術者を研修生として受け入れ、「送変電設備の信頼性向上」をテーマに研修を行いました。

また、2018年度はインドネシアに社員2名を派遣し、「送変電設備の資産管理」をテーマに講義を行っています。

東北日本カナダ協会の運営を通じて、日加間の相互理解と友好親善の促進を図っています

東北日本カナダ協会は、東北とカナダの生活・文化・経済などの交流を通して、相互理解を深めるとともに、いっそうの友好親善に貢献することを目的に1990年に設立されました。

発足以来、当社は同協会の事務局を務め、機関誌「メイプル」の発行、「カナディアン・カルチャースクール」をはじめとする各種講演会やセミナーの開催などを通して、カナダに関する情報発信や交流促進に取り組んでいます。

また、活動の1つである毎年恒例のクリスマスパーティーは、東日本大震災以降、復興支援チャリティーを兼ねて実施しており、パーティー当日に集まった募金と参加費の一部を、震災・津波遺児を支援する活動を行う「あしなが育英会・東北事務所」に寄付しています。

当社では国際交流が地域の発展につながるという重要性を踏まえ、東北日本カナダ協会の事務局のほかにも、東北と各国の相互理解や交流促進を図る諸団体への協力を通して、さまざまな国際交流活動を支援しています。



研修生に設備を説明する様子



カナディアン・カルチャースクールの様子